

旭川医科大学医学部看護学科 地域包括ケア実習 健康セミナー
「げんき種 2025 in 神楽」の開催報告

【日 時】令和7年7月16日（水）14:00～16:10

【場 所】神楽公民館「木楽輪」

【参 加 者】参加地域住民14名、旭川医大看護学科学生19名、旭川医大看護学科教員7名、神楽まち協委員3名（参加2名、受付1名）、神楽支所1名 合計44名

【実施目的】「地域での暮らしや看取りまでを見据えた看護」ができる人材を育てることを目的とする、旭川医大看護学科のカリキュラム科目「地域包括ケア論」及び「地域包括ケア実習」の学習機会提供に、神楽まち協が協力すると同時に、地域住民の健康づくりにもつなげていく（神楽まち協と旭川医大との協力連携の一環として実施する）。

【実施内容】学生と参加者が4つのグループ分かれて「コグニ体操」、「歩行チェック」、「握力測定」、「身体の成分測定（筋肉量・体脂肪率等の体組成計測）」、「連想ゲーム」、「げんき種インタビュー（学生による参加者の生活面や健康面の確認）」を実施した。

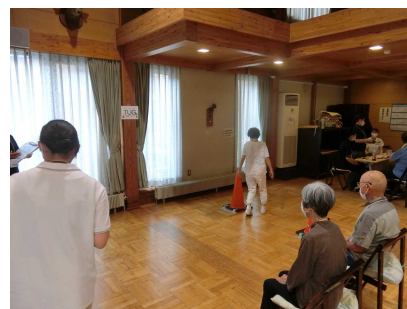
【実施風景】



旭川医科大学 山根教授挨拶



コグニ体操



歩行チェック



握力測定



身体の成分測定



連想ゲーム



旭川医科大学 平教授講話



げんき種インタビュー



修了証授与